



すびっこ 美術館

舟石川保育所

曾我わかなちゃん



親子遠足

親子遠足で行ったひたち海浜公園で、お友達と楽しく遊んだときの絵を描いてくれたのは、わかなちゃん(6歳)。「ローラーすべり台が楽しかったんだ!この花はポピーとネモフィラだよ。また行きたいな」とうれしそうに話してくれました。

ぼくの夢 わたしの夢



夢は…。 “保育士”

石神小学校6年 ●長嶋咲来

私の将来の夢は、保育士です。私が幼稚園のとき、職業体験に来ていた中学生たちが、優しく遊んでくれたことがとてもうれしかったのを今でも覚えています。そして、私も保育士になって、みんなを喜ばせたいと思いました。

4月に入学してきた1年生を見ていると、とてもかわいくて、私も早く大人になって、保育士として働きたいなど楽しみになります。でも、保育士にはなりたくないと思った時期もありました。小さい子と遊んでいると、急に道路に飛び出すなど、たくさん困ったことがあったからです。そのことが悲しくて、夢を投げ出そうとしたこともありました。でも、両親に相談してみると、「保育士は良い仕事だと思うよ」と言ってくれました。私は家族からの励ましの言葉を聞いて、もう一度、保育士になることを決心し、自分の夢なので頑張って叶えたいと思います。

わが家の子育てノート

表紙・足立利恵子

わが家は夫と私、香奈恵(4歳)、基博(11か月)の4人家族です。

私はもともと心配性なところがあるので、娘を妊娠中には、切迫流産や逆子で悩み、出産予定日の9日超過で誘発分娩にもなり、赤ちゃんの顔を見るまではとても不安でした。産声を聞いた時には安心して涙が止まりませんでした。その香奈恵の誕生は、同時に心配性なママの誕生でもありました。初めての育児で、なかなか体重が増えない娘を見ては不安になり、家族やママ友、保健師さんに励まされながら乗り切ってきました。生後3か月のときには東日本大震災が起きましたが、近所の方々に水や食料を分けていただいたことが、今も忘れられない思い出です。

また、香奈恵は高熱を出しやすく、痙攣での入院や夜間救急に駆け込むなど、眠れぬ夜を何度も経験しました。でも、そんな心配ばかりの日々は、保育園に行くことになって転機を迎えました。初めこそ、1日中泣いてばかりでしたが、徐々に身の回りのことなどを自分でできるようになり、心身ともに成長しました。それでもマイペースな性格の娘なので、私もちい

できないことに目を向けがちでしたが、保育園の先生方には「ゆっくりでも集中してできましたよ」「リズム体操が上手ですね」「給食をおかわりしました」など、できるようになったことや長所を見つけていただけて、とてもうれしかったです。保育園の先生との連絡帳は、まさに娘の成長日記でもあり私の宝物です。

昨年産まれた息子の基博は、食欲旺盛でたちまち大きく成長し、今ではどこでもつかまり立ちをしてしまうので目が離せません。子ども2人の育児は想像以上に大変ですが、香奈恵が弟のお世話や家事のお手伝いをしてくれる優しいお姉さんになってきたこと、そして、夫や近くに住む私の母の支えもあり、ようやく育児を楽しめるようになり、心配性は少しずつ落ち着いてきたような気がします。そんな私も、もうすぐ仕事に復帰します。子どもたちとふれあえる時間を大切にしながら、これからも支えてくださる皆さんへの感謝を忘れず、私も子どもたちと共に成長していきたいと思えます。

